

早稲田大学理工漕艇部

OB 会 2015 年度総会の概要報告

委任状：20 名、出席者：25 名（計 45 名）

1、鳥羽会長挨拶

・昨年の総会は祭日にもかかわらず、授業制度が変わって平日と同様の授業があった為、現役は 6 名しか出席出来ませんでした。そこで今年は 11 月の第 1 週日曜日開催とし、16 名の出席者を迎えられました。

・私から 2015 年度の活動を総括してお話しし、各委員会から後ほど詳しい報告を致します。

・役員改選となって 1 年が終わりますが、この 1 年力を注いできたことに新人の獲得があります。現役の人数は増えたとはいえまだまだ少ない状況は続いています。OB 会費の約 7 割が現役に対する補助に回っていますが、更に多くの OB にご支援いただき現役を盛り立ててゆく所存です。

・現役諸君も自分たちが主体となって部員を増やし、活発な部活動を目指してください。

・現役との接点が今まで「現役支援委員会」と監督陣だけでしたが、今後は「会員リレーション委員会」も一体となった多方面の支援をしてゆきたい。

・また、『OB の為の OB 会』を実現すべく、「碧水会」を「催事委員会」の一部から切り離して個別の組織として位置付けることを本総会で後ほど採決して頂く予定です。

2、議案審議

2-1) 平成 27 年度各委員会活動報告、及び

28 年度活動計画

【各委員会報告及び来期計画参照】

- ① ビジョン・会則整備委員会 (S56 卒：小堂)
- ② 監督陣・現役支援委員会 (S45 卒：林、S56 卒：高島)
- ③ 広報委員会 (S44 卒：吉田)
- ④ 催事委員会 (S56 卒：土屋)
- ⑤ 環境改善委員会 (S42 卒：高見)
- ⑥ 会員リレーション委員会 (S50 卒：高荷)
- ⑦ 総務委員会 (S60 卒：小寺、S56 卒：栗原)
- ⑧ 財政・会計委員会 (S50 卒：池田)

2-2) 平成 27 年度決算報告、及び 28 年度予算案承認の件 (池田)

・会計年度が、昨年の総会にて 9 月末から 8 月末に変更となりましたので、今期の会計期間は 11 ヶ月となっている。

・今期から戸田の家賃収入を一般会計から外し、特別会計とした。

・「早慶レガッタ」の会計も来期は一般会計から外す。

・総会の会計も来期は一般会計から外す。

・予算合計は、¥2,044,000 とし、収入と見合った予算となっている。

監査報告

・別添決算書及び予算書を監事（S51 卒：中山）がし問題ないことを報告。

⇒反対意見無く承認された。

2-3) 規約改定の件

① 役員任期「…ただし、連続する任期は 6 年までとする。」の一文を削除する件。

『改定理由』

・現行規約第 4 条 四、役員は以下の各号により選出する。二) 副会長、担当役員、監事、

・監督・助監督は総会に諮った上で会長が指名委嘱する。

・役員の活動は、ボランティアを旨とするもので、本人のやる気等役員継続の意思を担当副会長及び会長が確認したうえで総会に諮ることを原則としたい。

・ボランティアによる役員活動へ積極的に参加してくる OB 数が年々少なくなりつつあり後任を見つけることが困難になっている。

<反対意見>

・役員の任期は原則 2 年であり、2 年ごとの総会で新任・再任の審議があるべきですがこれは定着していない。この状況下で任期制限を無くせば役員の固定化に繋がり、過去の弊害が再発する恐れがある。

・会長が副会長以下の適否を総会に諮るのは当然として、会長自身の適否は総会が決めるが、任期が不明では審議の契機が無い。熱意ある有能な人を活かし、総会が審議できるルールを考えてほしい。

(S42 卒、大枝……当日は欠席、FAX にて)

⇒満場一致で承認された。

② 碧水会 RC を催事委員会の下部組織から独立させる件。

『改定理由』

・碧水会 RC は組織・運営が確立され、催事委員会から独立した活動が可能になったこと。

・碧水会 RC は、レース活動、国体の手伝い等により他団体から知られた存在になったこと。

・催事委員会として、実際に漕がない OB への対応

を充実させる為、役割を明確に分けた。

<質問>

・現在とどう変わるのか？(S44 卒：原川)

<回答>

・催事委員会から予算と人材を明確に分離し、各委員会と同等の位置付けで活動する。

・主将を高橋さん(S52)、副主将を中平さん(S56)にお願いしたい。(S56 卒：土屋)

⇒反対意見無く承認された。

理工漕艇部OB会組織表

2015/11/1改定

総 会		
会 長	島羽 博司	S50
副会長	池田 和夫	S50
	井窪 裕之	S50
	郡須原和良	S54

監 事	
中山 清	S51

監 問	
堀内 龍二	S39
高見 昌博	S42
金谷 善治	S42

役 員 会			
会長、副会長、監事	小泉 正巳 (S52)	ビジョン・会則整備担当:	小室 康広 (S56)
総務担当: 正	小寺 浩二 (S60)	催事担当:	土屋 信之 (S56)
総務担当: 副	池田 和夫 (S50)	会員レージン担当: 正	高荷 道雄 (S50)
財政・会計担当: 正	田中 智士 (S51)	副	田中 智士 (S51)
財政・会計担当: 副	林 操 (S45)	監督:	熊谷 政行 (S52)
現役支援担当:	吉田 新一 (S44)	助監督	武田 俊輔 (S55)
広報担当:	高見 昌博 (S42)		高島 洋一 (S56)
環境改善担当:		代表卒業生役員:	
		青藤 隆 (S47)	
		高荷 道雄 (S50)	
		原田 修一 (S59)	
		上野 浩史 (S61)	
		本田 一博 (H03)	
		中村 佳 (H11)	
		松本(旧:宮田)義樹 (H18)	

卒業年齢事 (通称: 学年幹事) ...別紙

懇水会RC	
主将	高橋 康夫 S52
副将	荒川 裕明 S52
副将	中平 浩生 S57

現役支援委員会	
委員長	林 操 S45
委 員	堀内 龍二 S39
	佐藤 廣人 S42
	松村 治夫 S47
	高島 洋一 S56

総務委員会	
委員長	小泉 正巳 S52
副委員長	小寺 浩二 S60
委 員	原田 修一 S59
	野村 祐彦 H03
	沼尻 光一郎 H4

環境改善委員会	
委員長	高見 昌博 S42
委 員	堀内 龍二 S39
	金谷 善治 S42
	原川 洋之 S44
	宮田 修 S44
	郡須原 和良 S54
	名賀郡治亮 S54
	浅見 直敏 H02

財政・会計委員会	
委員長	池田 和夫 S50
副委員長	田中 智士 S51
委 員	西村 松郎 S46
	村上 昌哉 S63
	小林 卓也 H06

催事委員会	
委員長	土屋 信之 S56
副委員長	高橋 康夫 S52
委 員	渡部 義明 S45
	原川 裕明 S52
	中平 浩生 S57
	小方 聡 S60

会員レージン委員会	
委員長	高荷 道雄 S50
副委員長	田中 智士 S51
委 員	青藤 隆 S47
	上野 浩史 S61
	本田 一博 H03
	小林 卓也 H06
	中村 佳 H11
	松本(旧:宮田)義樹 H18

広報委員会	
委員長	吉田 新一 S44
副委員長	山住 市郎 S44
委 員	瀧本 健 S44
	渡部 義明 S45
	藤 敏明 S50
	荒川 裕明 S52
	小寺 浩二 S60
	関 亮介 H20

ビジョン・会則整備委員会	
委員長	小室 康広 S56
委 員	堀内 龍二 S39
	平地 富安 S44
	郡須原和良 S54
	上野 浩史 S61
	清野 隆司 H02
	小林 卓也 H06

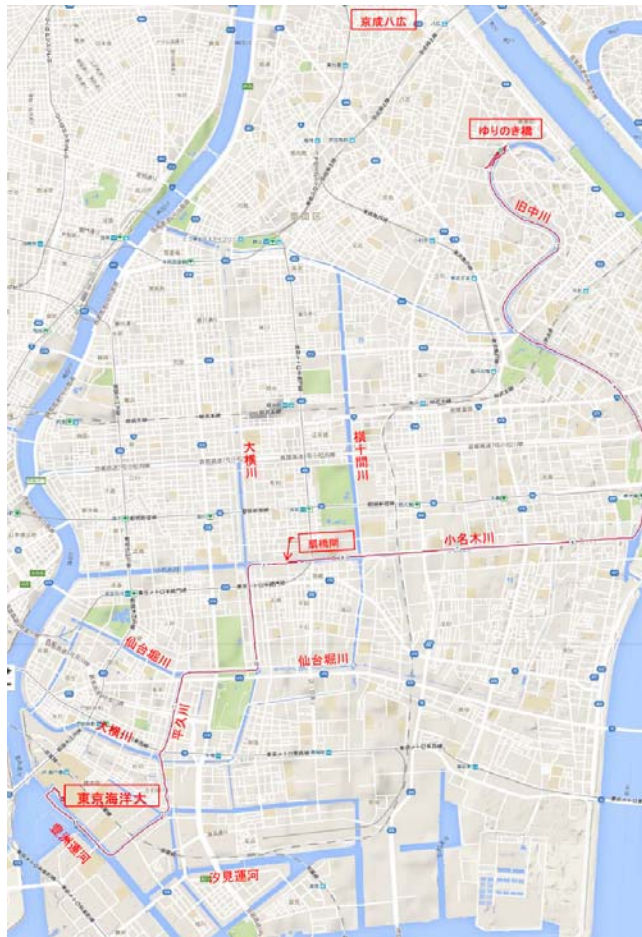
《東京の下町をぬって漫漕する》



【 漫漕報告 】 鳥羽博司 S50

3月20日、漫漕会（早慶東商及び海洋大学OBを中心に集まった日本橋川・神田川を漕ぐ会）の漫漕に、碧水会RCより、向坊（S48）、井窪・池田・高荷・鳥羽（全員S50）の5名が参加して下記ルートで、KFを東京の下町を縫う運河を約10kmほど、越中島の東京海洋大学（旧商船大学）まで漫漕してきました。

漫漕ルート図⇒



漕ぎ出しは、東京スカイツリー近く、旧中川のゆりのき橋のたもとにある隅田川ローイングクラブの艇庫よりKF2ハイ（うち1パイを理工ボート部OBが運漕）で漕ぎ出し、下記ルートで、越中島東京海洋大学の艇庫までの遠漕です。

航路：

旧中川・ゆりのき橋～小名木川入口	3 km
小名木川～大横川入口	3 km
大横川～仙台堀入口	1 Km
仙台堀～平久川入口	1 km
平久川～潮見運河入口	1 km
潮見運河～豊洲運河入口	1 km
豊洲運河～東京海洋大ボンツーン	1 km

計 約 11 km

所要時間 約 2～2.5 時間

ルートの旧中川（約3 km）は兩岸が親水公園として整備され釣りが禁止されているようで、大きなボラ（？）の群れが悠然と泳ぎ、小学生のナックルコードや高校生のコード、スカルその他カヌーが行き交う、理想の水面でした。

小名木川入口から豊洲運河入口までの約7 kmは下町を縫う運河網で、こちらも兩岸が親水歩道に整備されており運河を見下ろすようにマンションが立ち並び、運河にかかる幾多の橋の上からは道行く人々が笑顔で手を振り、まさに欧米の国々にあるような都会の中のボートコースでの練習の様で、多少晴れがましい気分でした。



また、ルートの中に水門があり、旧中川からの運河と東京湾に通じる運河との水位差が約 2 m あり、生まれて初めてボートに乗ったまま水門間での水位調整を経験しました。



少々残念であったのは、旧中川のゆりのき橋の艇庫の両岸の桜が、河津桜で、すでに散っていたことと、運河の両岸の桜（そめいよしの？）の開花が、未だ 1 週間ほど早く、開いていなかったことでした。



漫漕後には、今回の漫漕の手配を下さった漫漕会の本田さん（一ツ橋 S 4 2）と八尾さん（早大 S 4 4）を中心に、海洋大学の学生を含めた 16 名ほどで、門前仲町で打ち上げ会を行い、とても楽しいち日を過ごしてきました。



《足が棒になる》

塚田 修 S44 卒

2 月 28 日に開催されました東京マラソンで、塚田さんは苦しい体験を乗り越えてみごと完走しました。塚田さんより参戦の様子が寄せられましたので、写真を添えて掲載致します。

皆様へ

応援有難うございました。まさか平野さんの応援実況が流れてるとは知りませんでした。



10km 快調な足取り



浅草(25km)も無事通過

30Km 過ぎから一気にスピードが落ちて 35Km-40Km は 42 分、最後の 3Km で 30 分かかり最後の 1Km は歩くことすら困難になり、ゴールの線をまたいで全く動けなくなり、両脇からスタッフ 2 人に抱えられ、後続の邪魔にならないように脇に置かれる始末。



歩いてゴールイン

しばらく路肩で全身がつって動けませんでした。大混雑のなか愛妻と息子に助けられ虫の息で家までたどり着きました。



後続の邪魔にならないように脇に置かれる始末

ここで 2 つの言葉の意味が 70 歳にして初めて分りました。

「足が棒になる」と言いますが最後 1Km は足は正しく棒です。つまり膝の関節が全く動かない、大腿骨の関節も動かない。そのまま真後ろにが〜んとひっくりかえり後頭部を打ってあの世行きかと恐怖を覚えました。

2 つ目が「あきらめない」。最後の 1Km はギブアップしようにも誰も助けてくれない。41Km せたく走ったのにギブアップはなかり。という陽気で無神経な応援が沿道から送られるのです。諦めようにも諦められないが本当のあきらめない。

おまけに最後に感じたのは、人間健康で調子がいいようでもある年になると必ず死ぬということです。25Km あたりまではこのままドンドンゴールまで調子良く行けると考えておりましたが後半一気に体が動かなくなったのです。ゴール後、スタッフから全員に大きな「Finisher」と書いたタオルを肩にかけてもらうのですが、正しく時間はどうであれ終わったということへの喜びと感謝ということです。

今朝は 6 時からいつもの水泳で 1Km 泳ぎ体の回復を狙いました。日頃の鍛錬かどこも痛くない。これから妻と二人で熱海に行き、ブラタモリで有名な江戸時代からつづく古谷旅館で「清衛門の湯」で英気を養ってまいります。

《第 28 回マシンローイング大会 (横浜)》

平成 28 年(2016) 1 月 24 日 (日)
場所： 横浜市鶴見スポーツセンター
天候： 快晴 (大会は室内実施)



【 大会運営に携わった碧水会メンバー 】

芦澤正洋 H02 (タイムキーパー)

【 大会報告 】 中平法生 S57

鶴見のマシンローイング, 室内ボート競漕参加ありがとうございました。エルゴ結果の記録要員として補助員をしていただいた芦澤さんご苦労さまでした。

ローアウトした栗原さん大丈夫ですか。また, 軽量級をキープするため前日絶食したとの小寺さん無理をしないでください。

記録は別途送付されるか横浜市ボート協会
<<http://homepage1.nifty.com/YRA/index.htm>>
に表示されるかと思います。

団塊号弓場さん曰く, エルゴの平均タイムから 15 秒ひいた値が実際の艇の速度(例えば 1000m4 分なら 3 分 45 秒で漕げる)とのこと。エルゴが速いからといって艇が速いとは限らないのですが, エルゴ遅いと艇も遅いといえそうです。

来年は団塊号方式で, 戸田は有志で 2000m, 鶴見はみなさん参加で 1000m でいきたいと思います。

【 エントリー記録 】

2000m	野村祐造 H03	8' 06" 06
2000m	中平法生 S57	8' 09" 00
2000m	小寺浩二 S60	8' 17" 02
2000m	栗原修一 S59	8' 23" 04
1000m	渡部義明 S45	4' 21" 05

【 ローアウト体験 】 栗原修一 S59

皆さん、

当日はローアウトしてしまいご心配、ご面倒をおかけしました。以下、備忘録として記憶のままを報告しておきます。

12 時スタートの 4 レーン。係員は碧水会 RC 芦澤さん。12 レースは 8 艇が出場、1 レーンは小寺さん、右隣の 5 レーンは野村さんでした。「2 分前です。皆さん、ハンドルを置いてください。」と係員の声。正面スクリーンには 8 艇のボートが表示され、まもなくスタート。

今回は初めてのマシンローイング大会でしたが、高島さんのタイム 7 分 40 秒切りを目標に、最初の 500m は 1 分 50 秒弱で入り、次は 1 分 55 秒、1 分 55 秒、ラストは気力で 2 分切りでというプランでした。

前半は全くプラン通りで 3 位をキープしていました。「いい感じで来てる！」1000m を超えてからは 2 分台に落ちはじめる。「あれっ、足は疲れてないのにパワーが出てない。」1200m 超えたあたりから野村さんに並ばれ、100m くらい並走するものの抜かれる。

「まずいぞ！これではゴールにたどり着けない！」一瞬棄権も考えました(今思うと棄権すべき状況でした)。その後はご想像の通り。ラスト 700m のあたりですでにローアウトしていました。ズルズルと 2 分 20 秒台へと失速。周囲からは「ラスト 500m、上げろ上げろ！」などという声が聞こえるも全く我には響かず。小寺さんに抜かれる。後はゴール目指してなんとか気力で続け。ラスト 3 本のいかに長かったことか！ タイムは 8 分 23 秒、最下位。



「終了後はクーリングダウンをしてください。」という声が聞こえるものの、エルゴのイスに座ったまま動けない。芦澤さんが「大丈夫ですか？動けますか？」と声をかけてもらうが、動かそうとしても足が動いてくれない感じで全く動けず。「こんな体の状態は初めてだ。」次の選手が控えている中を申し訳ないと思いつつ、1 分くらい経過したでしょうか。ついに芦澤さんら 2 人に抱えられ、後ろに移動し床に寝かせてもらいました。その後も心拍数が下らず、うずくまるしかありませんでした。

20 分ほどして少し立てそうになったので、皆さんの介助で観客席に移動。毛布を敷いてもらい横たわっていました。皆さんにいろいろ飲み物をだしてもらいました。頭が痛かったので事務局の女性からは氷袋が差し出されました。ほどなくしてドクターが来てくださり、血圧と心拍数を測る。159 の 86、脈は 150。「もういい年なのだから頑張りすぎてはいかんなあ」と反省しきり。小寺さんがリュックを持って来てもらい、枕にして寝ていました。

13 時が過ぎて会場がザワザワして来ました。1315 のラストレースを見に人が増えてきたのでしょうか。幸い頭痛もなくなり体も回復してきました。ラストレース開始後は歩けるようになったので、宮坂さんたちの漕ぎを見学しました。

13 時半頃にリレーを少し見てから、鶴見スポーツセンターを出ました。渡部さん・中平さんと 3 人で中華屋に寄り、生ビール 1 杯と定食の遅い昼食、反省会をしました。中平さん「ああいう時は棄権してもいいのだよ。」その後帰宅の途につきました。が、鼻水が止まらず背中や腰が痛い。おかしいなあ、もう筋肉痛か？？それにしても体が辛いなあと思いつつ 90 分後に帰宅。すると急に寒気が来たため床につきました。その夜は 38.5℃にまであがる始末。インフル接種済みでしたので、細菌性の風邪だったのでしょうか。幸い翌朝は熱が下がりましたので出社しました。

今振り返ると途中棄権が正解でした。ローアウトしたから風邪を引いたのか、風邪のひき初めだったからローアウトしたのか、わかりませんが、次回そ

うなったらローアウトする前に棄権します。頑張りすぎと体調管理には気をつけねばと思い知らされた次第です。

最後になりますが、介抱くださった碧水会 RC の渡部さん、中平さん、芦澤さん、野村さん、脈や血圧を見てくださったドクターの先生、毛布や氷を持って来てくださった事務局の皆さんに厚く御礼申し上げます。

《平成 28 年初漕ぎ》

平成 28 年(2016) 1 月 9 日 (土)

場所： 戸田オリンピックコース

天候： 快晴



初漕ぎは、09:00 碧水会 RC 初練習、13:00 初漕ぎ、15:00 懇親会というスケジュールで進行了。当日の様相について碧水会 RC 主将の高橋さんと助監督の高島さんから報告が上ってきていますので、関連写真を添えて掲載致します。

【高橋康夫 S52】

碧水会 RC 初練習・初漕ぎに参加した皆さんお疲れ様でした。

初練習は 9 名丁度、エイト（回天Ⅱ）に久々に乗りました。午前中のコースはシングルスカルを中心に大混雑で、艇の間を縫っての練習となりました。事前に土屋監督にメニューを用意してもらいましたが、とても技術練習などできる状況ではなく、ライトパドルでの LSD がほとんどとなりました。ただ指示のあった 500m トライアルとコース 3 周は果たしました。久々の乗艇でもあり最初はバタバタでスタートしましたが、後半はバランスも取れまらずの練習ができました。



初練習の後は昨年同様に蕎麦屋で腹ごしらえをし、午後の初漕ぎに備えました。混んでいたコースも 11 時になると隙はじめ、12 時にはガラガラとなっていました。吉田さん：大渋滞の中での舵引き、大変お疲れさまでした。来年の初練習は 10 時 30 分集合、11 時乗艇とすることにします。



現役主催の初漕ぎには、RCメンバー 16 名に、他 OB も加わり、エイトが漕手一部交代で 2 ラウンド、ナックル 2 艇、シングルスカルに分かれ、晴天・波のない穏やかなコンディションの元で、気持ちよく漕げました。

懇親会では現役による豚汁・おにぎり・から揚げ・他という「おもてなし」を三菱艇庫の 2 階ラウンジで受け、楽しい一時を過ごしました。懇親会では、全員一言ずつ挨拶あり、S54 年卒の湯澤さんがこれを機に、今後 RC の活動に参加する旨、意思表示がありました（久々の新人です！）。また、しばらく腰痛のため活動参加ができなかった高荷さんも初漕ぎに参加し、まだ痛みは残るもののそろそろ復帰できそう、という話も聞けました。

その懇親会の後、戸田公園駅前に流れ、当日朝から晩まで戸田で過ごした人が何名かいます・・・。

林監督、熊谷・高島両助監督

お陰様で初漕ぎ・懇親会大変楽しい参加させていただきました。

豚汁、おにぎりそして男子現役が揚げたという唐揚げ美味しかったです。

現役の皆さんによりしくお伝え下さい。

当日、もらったカラー版部報も楽しく読ませてもらってます。



【高島洋一 S56】

2016 年の現役主催の初漕ぎは、総勢 23 名の OB の参加を頂き無事終了致しました。

当日は風もなく暖かな天候の下、エイト 1 杯、スカル 1 杯、ナックル 2 杯を出艇し、1 周目は OB のみ、2 周目は現役との混成クルーで、和気藹々と乗艇を楽しみました。





今回はひさびさに S54 卒の湯沢さんが参加され、乗艇および懇親会の写真を撮影して下さいました。OB の皆さまには、本年も機会がありましたら戸田へ足を運んで頂き、現役へ温かいご声援を頂けますよう、よろしくお願い致します。

その後の懇親会では、現役手作りの豚汁・おにぎり・から揚げなどを食べながら、OB が現役時代の話をしたり、現役のボート部生活の様子を聞いたりと交流を深め、また OB がそれぞれ激励の言葉を、現役がそれぞれ今年の抱負、目標を述べてもらい楽しい一時を過ごしました。



《大人の遠足 丹沢編》

土屋信之 S56

11月15日の宮ヶ瀬湖紅葉レガッタ参戦のあと、選手および応援の家族らは東丹沢リッチランドという保養施設に移動し、「芋煮会」を楽しむことになります。芋煮会の準備・運営については催事委員会の土屋さんが鍋奉行の大役を買って出てくれました。その土屋さんから楽しい秋の遠足の思い出が寄せられましたので紹介致します。



◆一日目(11/14)：小雨

土屋は、高井戸のオオゼキで吉田芋煮隊長、高橋隊員と落ち合う、明日の芋煮、BBQ の材料購入。参加者、25 人を目安。事前に吉田隊長が作成したお買い物リストに従い食材購入。主に肉、アルコール類、自分では買わないような BBQ 用高級牛肉をも購入。芋煮の肉も牛肉だそうだ、初めて知った。「豚だったら豚汁になるじゃないか。」こちらも少々上等な牛肉。そして、芋煮はカレーうどんで締めるらしい。

高橋隊員が「さきいか買っていいかなあ?」「いいんじゃないですか! 吉田隊長のリストにはないけど。」買い物は順調に進むも、何せアルコール類が重い。雨の中駐車場まで往復。

食材、芋煮のなべ、BBQ の道具を高橋隊員の車に乗せると、もう満杯、バックミラーは視界不良か? 芋煮、BBQ に期待も膨らむ。いえいえ、主客転倒、明日は宮ヶ瀬紅葉レガッタがメインイベントだよ。ひとまず帰宅。

吉田隊長ありがとう。



◆二日目(11/15)：朝は本降り

相模湖駅で栗原さんと一緒に荒川さんの車を待つ。

荒川さんの車が駅前ロータリーに到着。

「あれ、小林さんも乗っている。」

「荒川さんの家にとめてもらったんだ。荒川さんの家は山の中腹に建っていて、上ノ原の町が一望、リゾートみたい。」「露天風呂があれば、さらによし。」

後部扉を開けて、車に乗り込もうとすると、そこには、同じ青いデイパックが二つ。「え!! お揃いですか?」「いや、偶然ですよ。」リュックの種類はあまたありますので、偶然なんてないね。「仲がいいですね、びっくりぽん」

ここは、荒川さんの育った地元、宮ヶ瀬に向かい細い山道をどんどん登る。紅葉も進んで「はっ」と思う景色もある。八幡平にも負けない。そして、宮ヶ瀬につく。雨はやんだ。

レースは?? エイト、ナックル一杯は予選落ち、予定通りか? あまりよろしくない予定だね。クオードともう一杯のナックルは決勝にすすむ。(宮ヶ瀬紅葉レガッタ参戦記は他の方にお任せします。)

負けてしまったエイトメンバーの吉田隊長、野村隊員、芦澤隊員、高荷隊員と奥様および土屋は東丹沢リッチランドに移動。他の方々は決勝、応援。



東丹沢リッチランドとはすごい名前を付けたものだ。ナビがあっても迷う山奥、芋煮会場はその施設のさらに一番奥、熊が出ますと看板にある。

「どこがリッチなんだ」と思いながら、露天風呂に行く。「おっこれはすごい。」沸かし湯だが、三段風呂だ、5、6 人入れるお風呂が、小さな滝で結ばれ三段になっている。ぬるめのお湯が好きな土屋は二段目に入る。一番下のお湯はさすがにぬるい。

さて、芋煮鍋と材料の下ごしらえがすんだら、BBQ の炭熾しだ。「吉田隊長ご自慢の新兵器のバーナーで着火?」「なかなか着火しないよ?」結局、炭の間に段ボールの切れ端を入れて着火、何とか炭は熾きる。

応援の方々、ナックル決勝の方々が続々到着。芋煮はできている。長老軍団は、缶ビール片手に露天風呂へ直行し、なかなか帰ってきません。少し心配

になる頃やっと帰ってくる。ご機嫌だ。心配して損した。



BBQ 開始

「この肉うまい」

「(当たり前だ高いんだぞ)」

高級肉から「爆食い」困ったもんだ。

「伊勢エビがあると聞いているぞ」

「(そんなもん有る分けない) はい、この小さなエビは伊勢エビの子供です」

「そうか、これから育てればよいのだな」

「このさきいか固いぞ。」

「少し炭火であぶってみてくださいね」

現役漕艇部の理念に「多様性の尊重」とありますよね。「年取ると多様性が増して、わがままになる」とか言っている人も。「まあ！！ありのままで」ね。

そしてクオドが来る。優勝したらしい。クオドは理科大の OB 会権朋会との混成クルーだ。理科大からは守屋さんと渡辺さんが参加。

優勝おめでとう。ウオー・ウオー・ウオー乾杯

今日は渡辺さんの誕生日

渡辺さんお誕生日おめでとう。ウオー・ウオー・ウオー乾杯
守屋さん、渡辺さんありがとう。



《第 13 回宮ヶ瀬湖紅葉レガッタ》

平成 27 年(2015) 11 月 15 日

場所： 宮ヶ瀬湖カヌー場

天候： 曇りのち快晴

碧水会 RC は戸田マスターズレガッタに引き続き、本大会でも M4 X+において優勝の成績を収めました。今回の M4 X+は権朋会（理科大 OB の RC）との混成クルーにて出場したものです。大会終了後には近隣の保養所を利用してにぎやかな「芋煮会」も開催されました。そちらの様子については別途報告が上ってくる予定ですので、ご期待ください。



◆エントリー記録

宮ヶ瀬湖の試合コース（上記写真の左手後方）は 2 レーンしかないので、大会は各種目ごとの 2 杯レースが入れ替わりで展開されるという形で進行しました。タイムは年齢によるハンディがつき、修正タイムにより順位づけがなされました。

〔 M8 + 500m 予選 〕

碧水会 蒼天は 1 2 位のため決勝進出（6 杯上がり）はなりませんでした。

順位	修正	実	クルー名	平均 年齢	ハン ディ (ss.00)	実タイム (m:ss.00)	修正 タイム (m:ss.00)
1	10		三田漕マスターズ	73	21.15	1:51.96	1:30.81
2	3		団塊 WM	64	13.70	1:44.98	1:31.28
3	7		団塊 紫電改	67	16.00	1:47.69	1:31.69
4	4		団塊シニア	62	12.25	1:45.24	1:32.99
5	2		矢切ローイングクラブ	56	8.40	1:42.86	1:34.46
6	8		ジェントルタマちゃんズ	59	10.25	1:47.78	1:37.53
7	13		日本ボートマンクラブ	75	23.05	2:00.83	1:37.78

「暁」 早稲田大学理工漕艇部 OB 会誌 <2016 年 4 月号> 2016.4.4

8	1	目白ボートBC	24	0.00	1:38.40	1:38.40
9	12	団塊ウェンズデイ	66	15.20	1:53.93	1:38.73
10	5	ペンタ郎エイト	53	6.75	1:45.71	1:38.96
11	6	でん助インスパイア I	53	6.75	1:46.19	1:39.44
12	9	碧水会 蒼天	54	7.30	1:51.06	1:43.76
13	11	法政二高木月艇友会VM	54	7.30	1:51.99	1:44.69
14	14	ペンタ RC シニア	74	22.10	2:41.02	2:18.92

(碧水会 蒼天クルー)

C 吉田新一 S44 S 野村祐造 H03 7 小林良夫 S52
6 東島臣作 権朋会 5 芦澤正洋 H02 4 土屋信之 S56
3 渡部義明 S45 2 高橋康夫 S52 B 中平法生 S57



C 吉田新一 S44 S 田中敏雄 S44 3 岡本 卓 S44
2 山村洋史 補漕 B 山住市郎 S44



(碧水会 勝関クルー)

C 藤 敏明 S50 S 鳥羽博司 S50 3 橋本豊勝 S50
2 池田和夫 S50 B 井窪裕之 S50



〔 MKF 500m 予選 〕

碧水会 勝関は4位、稲雲は8位となり、勝関が決勝進出(6杯上がり)、稲雲が予選敗退となりました。

順位	修正	実	クルー名	平均年齢	ハン	実タイム	修正
					ディ (ss.00)	(m:ss.00)	タイム (m:ss.00)
1	2		でん助ナックル	46	4.50	2:05.35	2:00.85
2	3		パワーズ A	55	9.80	2:11.16	2:01.36
3	1		隅田川RCエース	30	0.10	2:03.79	2:03.69
4	8		碧水会 勝関	64	17.10	2:20.81	2:03.71
5	6		足けり3本	54	9.10	2:14.83	2:05.73
6	4		多摩川船方節	48	5.50	2:12.53	2:07.03
7	7		日立インスパイア	57	11.25	2:19.02	2:07.77
8	10		碧水会 稲雲	69	22.10	2:30.14	2:08.04
9	5		青山学院大学	19	0.00	2:14.49	2:14.49
10	10		3MRC 男子ナックル	51	7.20	2:30.14	2:22.94
11	9		アメンボウ☆まーす	26	0.00	2:27.75	2:27.75
12	12		アメンボウ☆じゅびたー	19	0.00	2:50.55	2:50.55

(碧水会 稲雲クルー)

〔 MKF 500m 決勝 〕

勝関は健闘して2位に食い込みました。しかもタイム差はわずか0.07秒という紙一重です。

順位	修正	実	クルー名	平均年齢	ハン	実タイム	修正
					ディ (ss.00)	(m:ss.00)	タイム (m:ss.00)
1	3		足けり3本	54	9.10	2:12.81	2:03.71
2	6		碧水会 勝関	64	17.10	2:20.88	2:03.78
3	4		日立インスパイア	57	11.25	2:15.49	2:04.24
4	2		でん助ナックル	49	6.05	2:10.86	2:04.81
5	1		隅田川RCエース	30	0.10	2:06.50	2:06.40
6	5		パワーズ A	55	9.80	2:16.70	2:06.90

〔 M4 X + 500m 予選 〕

権朋会・碧水会連合 暁は2位で予選を通過し、難なく決勝進出しました。

順位	クルー名	平均年齢	ハンディ	実タイム	修正タイム
----	------	------	------	------	-------

修正	実			(ss.00)	(m:ss.00)	(m:ss.00)
1	1	中杉男子クオッドA	16	0.00	1:46.72	1:46.72
2	4	権朋会・碧水会連合 暁	60	11.75	1:59.65	1:47.90
3	2	中杉男子クオッドB	16	0.00	1:51.39	1:51.39
4	5	ペンタ郎クオッド	58	10.40	2:02.05	1:51.65
5	3	でん助インスパイア II	42	2.45	1:59.06	1:56.61
6	6	江戸川区ボート協会	43	2.75	2:09.15	2:06.40
7	7	Y校・木月艇友会オレンジQ	46	3.90	2:16.70	2:12.80
8	8	アメンボウ☆まーきゅりー	36	0.85	3:20.80	3:19.95

(権朋会・碧水会連合 暁クルー)

C 中平法生 S57 S 荒川裕明 S52 2 守屋悟志権朋会
3 渡辺 真権朋会 栗原修一 S59



[M4 X+500m 決勝]

暁は健闘して、ついに優勝の栄誉を勝ち取りました。

順位	クルー名	平均年齢	ハンディ (ss.00)	実タイム (m:ss.00)	修正 タイム (m:ss.00)
修正 実					
1	3 権朋会・碧水会連合 暁	60	11.75	1:59.32	1:47.57
2	1 中杉男子クオッドB	16	0.00	1:48.15	1:48.15
3	2 中杉男子クオッドA	16	0.00	1:48.94	1:48.94
4	4 ペンタ郎クオッド	58	10.40	2:06.11	1:55.71

《平成27年度戸田マスターズレガッタ》

平成27年(2015)11月8日

場所： 戸田オリンピックボートコース

天候： 雨

碧水会RCはついにM2Xで優勝という快挙を果たしました。



◆エントリー記録

碧水会RCはM1XおよびM2Xに出場しました。いずれも予選なしの決勝一発勝負です。年齢により、(A)から(E)までの5つのカテゴリーに分かれています。レースは混合カテゴリーで行われ、カテゴリーごとに順位づけがなされました。

M1X 500m (1/2)

カテゴリーBにて2位、3位の成績を収めました。また、碧水会の2艇はタイム差わずかに0.90秒というライバル争いを展開しました。

- (A)1 優勝 1'58"04 おっさんRC 高木
(B)1 優勝 2'00"52 ボート団塊号 志村
(B)2 2'06"37 碧水会C 小寺浩二 S60
(B)3 2'07"27 碧水会B 栗原修一 S59
(B)4 2'08"45 ボート団塊号 梶原

M1X 500m (2/2)

カテゴリーCにて2位の成績を収めました。

- (C)1 優勝 2'03"37 戸田市RC 岡崎
(C)2 2'08"49 碧水会A 荒川裕明 S52
(D)1 優勝 2'04"15 MBCシニア1X 秋山
(D)2 2'06"10 MBCシニア1X 大井
(D)3 2'06"75 ボート団塊号 前田

2X 500m

カテゴリーBにて1、2位を独占しました。

- (A)1 優勝 2'01"05 肉 Sisters
(B)1 優勝 1'59"70 碧水会A (S 荒川裕明 S52、B 野村祐造 H03)

(B) 2 2'01"78 碧水会 B (S 小寺浩二 S60、
B 栗原修一 S59)

(C) 1 優勝 2'04"63 ボート団塊号

(D) 1 優勝 1'55"83 MBC シニア D4X
JBC

(E) 1 優勝 2'17"83 PENTA RC シニア

◆優勝者の声： 荒川裕明 S52 (団塊号のレース報告を読んで)

相手クルーからは我がクルーが淡々と漕いでいる風に映るんですね、そんなどころじゃなかったんですが。見る角度が違って大変面白く読みました。

今後のレースの参考として、こっちサイドからの情報も包み隠さずお届けします。

野村さんとはずいぶん前に一度ダブルを漕いだことがあり、バランスも良くスピードも出ていたので、クルーが決まっても全く不安はありませんでした。1週間前にダブル練習を一度相模湖で行いましたが、1周も回るとバランスよく、艇速も伸び、これなら恥ずかしいレースにはならない、と確信しました。

レース当日、じゃんけんで負け、艇は「IND」となり、岸蹴り。ところがどういうわけか常にストサイに傾く。スタート練習ではバウサイ側に曲がってしまう。何度か修正を試みましたが、改善できず、このままでは2コースの碧水会Bにコース侵害し両艇とも失格の可能性があると考え、スタートは少し力を抜きましょう、バウサイ側に体重をかけなんとかバランスを取り、まっすぐ進むことを目標に漕ぎましょう、という事を事前に話しあいました。

スタート6本は確かにBに先行されましたが、スタリキですぐ追い越し300mくらいまでは結構調子良かったです、水も空いたし。しかしやはりストサイに傾き、常にフォワード中ブレードが水面を擦る、ファイナルの押しも足りない。さらに350mあたりからBが迫ってくる。確かこの辺りで、私も野村さんも1回づつくらいスカしたと思います。私はもういっぱいいっぱいでしたが、野村さんの声かけとパワーでなんとか追いつかれず、ほうほうのていで逃げ切った、というのが実際。今回は、一にも二にも野村エンジンのおかげです。シングルでは現在碧水会1、2位を擁するBチームは我がAチームに5秒差で勝つという言葉は跳ね返し2秒差で勝ってしまいました！ カテゴリー違いはあっても、ダブルの5艇レースに1位で入るのは気持ちいいですね、一応2連覇だし、また他艇の粉碎目標にされるのもうれしい限りです。

《第34回下諏訪レガッタ》

平成27(2015)年9月13日(日)

場所： 下諏訪町漕艇場

天候： うす曇り、一時晴れ



◆エントリー記録

出場種目はエキスパートパドル KF 500m。漕手に下諏訪レガッタ以外の経験者が2人以上いるクルー、というのが条件です。レースは、予選2杯上がり → 敗復1杯上がり → 決勝という進行でした。ただし、決勝進出はかなわず。

KF 500m 予選A

- 1 1'59"18 ぱおぱおクラブ
- 2 2'02"10 原っちゃ蹴れ!!2015
- 3 2'06"07 諏訪信用金庫
- 4 2'06"41 諏訪漕陵116
- 5 2'23"01 碧水会 勝関
- 6 2'37"03 Rowing anan C

(碧水会 勝関クルー)

C 高橋康夫 S52 S 鳥羽 博 S50 3 小林良夫 S52
2 土屋信之 S56 B 渡部義明 S45

KF 500m 予選B

- 1 2'05"67 キラーホエールRC
- 2 2'07"56 諏訪漕陵116
- 3 2'11"97 碧水会 稲雲
- 4 2'12"29 Rowing anan A
- 5 2'35"72 Rowing anan B

(碧水会 稲雲クルー)

C 吉田新一 S44 S 小寺浩二 S60 3 芦澤正洋 H02
2 荒川裕明 S52 B 栗原修一 S59

KF 500m 敗復D

- 1 2'07"41 諏訪漕陵116
- 2 2'10"09 碧水会 稲雲
- 3 2'23"63 碧水会 勝関
- 4 2'33"71 Rowing anan B

(碧水会 稲雲クルー： 予選Bに同じ)

(碧水会 勝関クルー)

C 田中優希 (キラホ) S 鳥羽 博 S50 3 小林良夫
S52 2 高橋康夫 S52 B 渡部義明 S45

◆下諏訪旅行

今回の下諏訪レガッタ出場に当たっては、清里にある吉田さんの別荘に泊めてもらってからの参戦という楽しい旅行を経験することができました。

吉田さんは別荘におけるバーベキュー、翌日の朝食、会場における昼食のすべての段取りを整えてくれました。バーベキューは鮎の塩焼き、焼きおにぎり付きです。当日の昼食に用意した豚汁は大鍋 2 杯もあって食べきれず、キラールホエールに分けてもまだ余り、隣り近所の観戦客に配って歩き、「来年もまた是非来てください」と頼まれる始末でした。

帰りは諏訪温泉片倉館の千人風呂で汗を流してから帰京です。これもまた吉田さんの引率によるものでした。

《 50 周年記念レース決定しました 》

催事委員長：S56 卒：土屋信之

日時：11月3日午前

場所：戸田ボートコース

50 周年記念レースを 2011 年に開きましたが、この様なレースを 5 年ごとにやろうと言う事でした。そしてこの企画が実現します。

詳細はこれからお知らせしますが、各年代で、ボートレースを行います。各年代は予定を立ててぜひご参加下さい。

《リレー随想》

・H07 年卒 生出さんから⇒

理工ボート部の女子漕手

H18 年 理工学部建築学科卒 齋田美怜
「大学に入ったら運動部に入りたい」と思っていた。ふわふわした飲みサークルではなく、真面目に活動していて、女子でも選手になれる部活にしようと思っていた。一応、女子なので、少しは『部活帰りは先輩に車で送ってもらえるのかな?』というような甘い大学生活を想像していたりもした。

入部を決めた理由は、「今からでもオリンピック選手になれるよ」と言われた事と、先輩達が格好良かったから。先輩達の漕いでいる姿、練習している姿が本当に格好良かった。一丸となって勝つ事しか考えてない、必死な姿は、何よりも素敵だと思う。一丸となるスポーツは他にもたくさんあるけれど、他の競技との差は、10 分未満の劇的な試合だと思う。すぐに結果が出るボートにどんどん引き込まれていった。先輩に言われた事がある。「2000m という長距離を全力で競技するスポーツはボートだけ」だと。スポーツの中で一番キツイ競技なのだと理解した。

是非、女子について述べようと思う。男子とは比べものにならないと思うが、想像していた「甘い大学生活（先述）」とはかけ離れた世界で、私達同期 5 人は努力した。「エルゴ 2000」「エルゴ 30 分」はシートに座ってからも 1 時間はスタートボタンを押す覚悟が決まらない。乗艇は良いが、エルゴは極力やりたくない。試合に出たい。出るなら勝ちたい。男子みたいに合宿所がない。毛布が汚い。理工まで陸トレに行くのが大変。他大女子漕手の仲間に入れない。試合前は日焼け止めを塗り捲る。テンションをあげようと 10 番艇庫で ZARD の「負けないで」を熱唱して、日体女子に怒られる。荒川の乗艇は強制ではない。試合に負けて泣く。勝っても泣く。わがままでガキの私達に先輩も同期も後輩も良く付き合ってくれた。

いつも一緒に居た女子クオだが、3 年にもなると、私達 5 人はそれぞれ進路も考え出し、物の考え方やモチベーションが違って苦労した。でも皆、好きだったんだと思う。ボートもボート部も。就活が忙しくても、バイトが大変でも、宿題が終わらなくても最後まで諦めずに努力した。自分達で考えて、自分達で乗り越えていけたと思う。自己満足でしかないかもしれないが、それで良かった。朝練がつらくても練習に行くのはクルーがいるから。体調不良でも練習に行くのはクルーがいるから。「仲間」という強

制力は、将来「絆」になっていると感じる。

私は諸事情で大学 5 年生の生活を送った。本当は 19 年卒という事。同期が卒業した後も漕いだという事。漕げる環境にあったのも事実だが、多くの事を犠牲にして漕げる環境を作ったのも事実。いつも自己満足だったから、何かを犠牲にして取り組む事は初めてだった。だからこそ、私はレースに勝つしかなかった。自己満足ではなく、結果を残さないと意味がない、そうでないと報われない。自分へのプレッシャーが凄かった。しかし、そのプレッシャーのおかげで、乗艇以外にも陸トレ、エルゴにも取り組んだ。今までで一番体作りができた。乗艇よりそちらの方が大事だったのかもしれない。インカレでは敗復敗退。結局、自己満足で終わったのだ。

最後に、ボートは大学から初めても勝てると言われてたけれど、やっぱり経験は長い方がいい。そして本気で取り組んだ時間が長い方がもっといい。戸田ボートコースは、結婚し、こどもが出来た今でも訪れたいところである。子育てが落ち着いたら? 時間に余裕ができたなら? 本気になれるときがきたら? 女子漕手が今後も育っていたら? 女子の監督になってもいいかもしれない。と、心のどこかで思っている。今は力不足で何の役にも立たないけれど、現役の皆さんのこと、心から応援しています。

・H18 年卒 齋田さんから⇒

今なお大切な 4 年間

H18 年 日本女子大卒 大黒

知子

「リレー随想」を書く機会をいただきました。在学中も卒業後もあまりボート部の役に立てたことがない私ですが、このリレーを繋ぐのに役に立てれば…。ボートを毎日懸命に漕いでいた、あの青春の時間を思い出し思い出し、随想させていただきたいと思います。

2002 年、日本女子大学に入学した私。それがなぜ早稲田大学理工学部の、聞き慣れない漕艇部、しかも漕手として…。ボートとの最初の出会いは印象に深く、よく覚えています。とにかく気持ちよくて、楽しくて、その時間すべてに感動しました。

何かスポーツ系のマネージャーになって、そこでスポーツ万能で素敵な人と出逢えれば言うことナシ! なんて思いながら新歓コンパに各種参加していた中に、早大理工ボート部がありました。お酒は苦くて好きではない私に、「無理に飲まなくていいよ」なんて優しい声。暴れることなく紳士的に進められる”

学生注目～！”。好印象だったので後日、「ボートに乗ってみませんか」という誘いに寮の友達と参加しました。それも池袋から戸田ボートコースまで先輩がエスコートしてくれるという接待振り。「わ～、大切にされてる～」なんて気分は高揚しながらジャージに着替え、いざ大きなナックルに乗艇です。

4月、季節は春とはいえ生まれ育った新潟はまだまだ寒い時期。けれど戸田は晴れて青空が広がり、風も暖かくて優しく、水面は太陽を反射してキラキラとまぶしい。ボートに乗り込むときの不安定さにキヤーキヤー騒ぎ、後ろ向きに座って前進することに感動し、オールを通して知る水の重さに驚き、何より水をこんな近くで感じたことがなかったことに気付きました。スピードとともに聞こえてくる水のカラコロカラコロという可愛らしい音にもワクワクして、たいへんに感動しました。そして、ボートを降りる頃にはすっかりボートにはまっていたのです。

それから気付けば大学時代は女子クォ(クォドルプル)メンバー5人とともに本気でボートを漕いでいました。たくさんの時間と気持ちを共有しました。スポーツ万能で素敵な人と出逢うよりも、もっともっと素敵で過酷で尊くて、とにかく汗と涙で、大切に貴重な時間でした。何より、同期のメンバーに出逢えた、これは本当に宝物。特に女子！楽しいことも苦しいことも一緒に過ごしてきたからこそその宝物。代わりなんて存在しません。

男子しかいなかったボート部に突然、やる気満々の女子が5人参入してきて、先輩方はさぞかし困惑したことになると思いますし、ご迷惑もたくさんお掛けしたことになると思います。その感謝の念は言うに及ばず、気持ちを表す言葉が見つからないくらいです。たくさんの機会を与えてもらい、たくさんの愛情を掛けてもらいました。ふと、自分はしてもらうばかりで、それを後輩達に与えることはできたのだろうか…と反省してしまいます。当時の後輩のみなさん、心の狭い先輩でごめんなさい。受け取るばかりで与えられない、まだまだ子供でした。

現役の後輩のみなさん、毎日朝から漕いでいますか。眠くて気分が乗らない朝も「おはよう」とメンバーに声をかけていますか。エルゴを壊してやりたいなんて思っていないですか。つぶれた手のひらの水ぶくれ、漕ぎ始めが痛いよね。合宿所はきれいに使っていますか。漕手であれマネージャーであれ、ボートを漕ぐことを楽しんでいますか。ボート部にいることを楽しんでいますか。大切な大切なあなたの時間を、早大理工ボート部を通して、もっともっと素敵な時間にして下さいね。忘れられない時間に。それは自分の心の持ち方次第。何につけても後悔のないように。応援しています。

~~~~~リレー随想執筆のお願い~~~~~

理工ボート OB 会広報委員会ではリレー随想の執筆を随時、広くお願いしております。指名された方も、また指名されてなくても構いません。昔の思い出、苦労話、ボートに対する思い、など何でも結構です。懐古的、建設的で読んで楽しい原稿を歓迎します。是非応募お願い致します。送付先は以下へお願いします。

OB 会広報委員リレー随想係 (S52 卒荒川)

[wild\\_riv@kss.biglobe.ne.jp](mailto:wild_riv@kss.biglobe.ne.jp)

### 【OB会費納入のお願い】

・自動振り込みまたは既にお支払いを頂いた方には、失礼します。一昨年まで、OB 会の会計年度は、総会開始時期の 11 月 1 日～翌年 10 月末となっていました。これだと会計の締めが総会に間に合わないという事で、会計年度は 10 月 1 日～9 月 30 日に変更しました。(一昨年は変則的に 11 月 1 日～9 月 30 日でした)

・OB 会の活動は、皆様から OB 会費により成り立っています。OB 会費未納の方は次の口座に振り込み願います。OB 会費は年会費 1 万円です。

東京三菱 UFJ 銀行 高田馬場支店

店番号 053

口座番号 0542113

早大理工ボート部 OB 会

(ソウダイリコウボートブ オウビイカイ)

なお、早慶戦用の口座は、会費口座と別口座ですので、お間違いの無いように願います。

### 【OB会費自動引き落とし加入のお願い】

事務局では OB 会費の納入にご賛同いただける方に、銀行口座からの自動引き落としをお願いしております。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。